

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

肩回旋腱板筋における脂肪変性の定量化の試みと肩甲下筋断裂の有無のより鋭敏な評価法の研究

2. 研究責任者(当院)

所属：整形外科

氏名：伊勢 昇平

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：

代表名：

3. 分担研究者

所属：整形外科 氏名：山田 有徳

所属：リハビリテーション室

氏名：奥村太朗、小川侑男、桑原康太、廣田 知佐恵、白井智裕、

4. 研究対象者

2023年4月1日～聖隷佐倉市民病院において肩関節 MRI を受けた方、又は受ける方。

5. 研究の必要性

当院では2023/4月より肩腱板の脂肪変性の評価を目的としてMRI撮像時に先行研究を踏まえ、IDEAL法による撮像を合わせて行っている。(Reeder SB et al, Iterative decomposition of water and fat with echo asymmetry and least-squares estimation (IDEAL): application with fast spin-echo imaging, Magn. Reson. Med. 2005)。MRIによる腱板断裂や脂肪変性の評価は定性的な評価が多く、定量化についての報告はわずかである(Nozaki T et al, Quantification of fatty degeneration within the supraspinatus muscle by using a 2-point Dixon method on 3-T MRI. Am J. Roentgenol. 2015)。MRI IDEAL法を用いて腱板の脂肪変性を評価し、合わせて他の様々なパラメータを定量化し臨床スコアとの関連を評価することで腱板断裂の病態解析・診断精度向上・予後予測の一助となりうる。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

個人への影響：なし(観察研究であるため)

医学上の貢献の予測：脂肪変性の程度と臨床スコアや可動域などとの関連性を評価し、腱板断裂による治療の予後予測につながることを期待できる

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：伊勢 昇平

対応時間：9:00-17:00

共同研究において専用窓口がある場合